

管内概要



オブ山の大杉（大仙市太田町）

秋田森林管理署

雄物川流域国有林へようこそ

雄物川流域は、奥羽脊梁山脈を源とする役内川、玉川、岩見川、また太平山地域を水源とする旭川が合流し日本海へ注ぐ、5市3町村にまたがる広大な地域です。

雄物川流域の国有林は、秋田スギの一大産地となっているほか、上流部にはブナを主とする広葉樹林が自然のままの姿で数多く残されており、十和田八幡平国立公園、栗駒国立公園をはじめ太平山、田沢湖抱返、真木真屋県立自然公園に指定され、原始的な自然環境を維持するための森林生態系保護地域、更に貴重な動植物を保護・保存するための保護林等が数多く設定されている自然環境豊かな地域でもあります。本流域は、北部を秋田森林管理署が、南部は湯沢支署で管轄しています。秋田森林管理署では14の森林事務所を配置し、各地域の特性に即した国有林の管理経営に努めています。

秋田森林管理署管内図



管内の森林面積あれこれ

市町村別森林面積

雄物川流域は秋田県の中央から南部に位置し、5市2町1村を包括しており総面積は495千HAで秋田県の43%であり、このうち森林面積は347千HAで総面積の70%を占め、国有林にあっては面積156千HAで総面積の32%、森林面積の45%となっています。雄物川流域の内秋田森林管理署管内は、3市1町で総面積303千HAで、秋田県の26%であり、このうち森林面積は212千HAで総面積の70%、国有林面積は111千HAで総面積の37%、森林面積の52%となっています。

秋田森林管理署管内内訳

(単位 : ha)

市町村名	市町村面積 ①	森林面積 ②	うち国有林 ③	うち 官行造林	国有林率(%) ③÷②	森林率(%) ②÷①
秋田市	90,567	62,320	25,041	327	40.2	68.8
大仙市	86,667	50,128	15,158	231	30.2	57.8
仙北市	109,364	92,192	66,519	464	72.2	84.3
美郷町	16,780	7,365	4,331		58.8	43.9
合計	303,378	212,005	111,050	1,022	52.4	69.9

管内国有林の特徴

管内の国有林111千haの内訳は、下記表のとおりとなっています。

管内を地域別に見ると北東部は優良豊富な天然秋田スギ林が現存し、東部は奥羽山脈を形成しブナ、ナラを主とする広葉樹林、雄物川沿線である南部から中央はスギ人工林が多く分布しています。

管内の最大の特徴は、自然豊かな森林が保護・保全されている地区が多いことです。特に仁別地区はブナや天然秋田スギが生育する約2,801haの森林が自然休養林に指定され、森林博物館、天然秋田スギ散策路、樹木園などが整備されており、仁別林道終点には「新百名山」に指定された太平山に通じる旭又登山口があり多くの登山客が訪れています。

田沢湖畔地区は、田沢湖・抱返り県立自然公園、田沢湖風景林に指定されており優れた景観を有しています。玉川地区は雄物川流域最大の支流域として重要な水源地であり、源流部から田沢湖にかけて、十和田・八幡平国定公園に指定されており、ブナを中心とした天然林が広がり、自然度の高い植生であることから葛根田川・玉川源流部森林生態系保護地域に指定されています。

人工林・天然林別 / 針葉樹・広葉樹別内訳

人天区分	NL区分	面積(ha)	割合(%)	材積(万m ³)	割合
人工林	N	31,539	28%	508	36%
	L			29	2%
	計			537	38%
天然林	N	74,749	67%	124	9%
	L			762	54%
	計			886	62%
計	N	106,288	96%	632	44%
	L			791	56%
	計			1,423	100%
林地以外等		4,761	4%		
合計		111,050	100%	1,423	100%

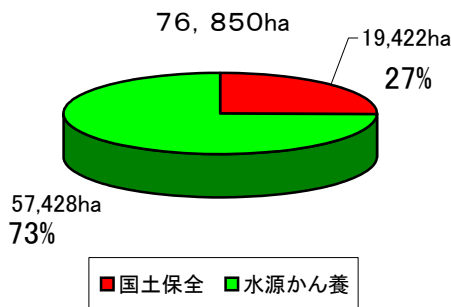
※四捨五入により縦計は一致しません。

森づくりの考え方

国有林ではその果たす役割に応じて「水土保持林」、「森林と人との共生林」、そして「資源循環利用林」の3つの機能類型に区分しています。さらに「水土保持林」と「森林と人との共生林」は、それぞれ2タイプに分けられ、その目的に応じた管理経営を行っています。

水土保持林

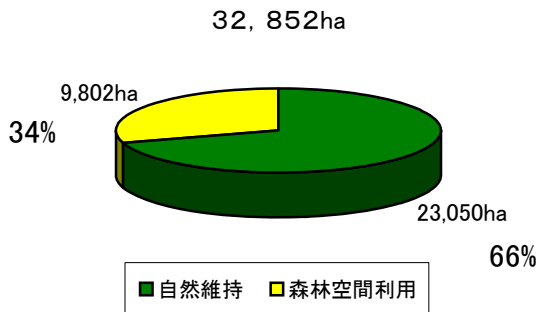
国土保全タイプ・水源かん養タイプの2区分があり、水資源の確保や、土砂崩れの防止といった国土の保全など、安全で安心な国民生活の維持を重視した森林をつくります。



(大仙市協和ダム周辺)

森林と人との共生林

自然維持タイプ・森林空間利用タイプの2区分があり、多様な生物の遺伝資源の保全や貴重な動植物群の保護など自然環境の保全、森林とのふれあいの場を提供する森林をつくります。



(仙北市玉川温泉自然観察教育林)

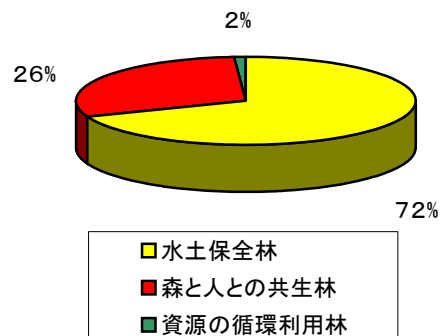
資源の循環利用林

生物多様性の確保などの公益的機能に留意しつつ、持続的・計画的な木材生産を重視した森林をつくります。

1,347ha



国有林の機能類型別割合



森林の役割をもっと活かすために 1

森林の持つ役割をもっと活かし、わたしたちの暮らしをもっと豊かにするために多くの取組を進めています。そのいくつかを紹介します。

1 保安林の整備

森林の役割は、木材供給だけではなく、水源かん養、災害防止、森林セラピーなど心に安らぎを与えるなど多くの機能を備えており、重要な働きを担っています。

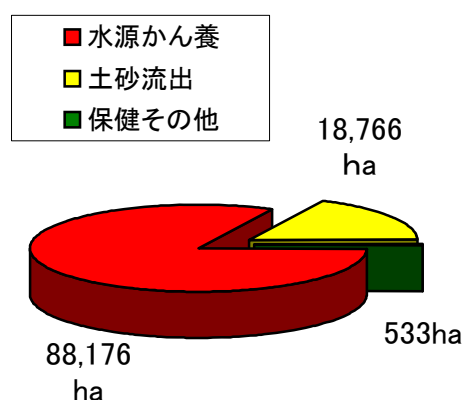
このような森林の公益的機能の発揮を目的として、特に重要な役割を果たしているのが保安林で、農林水産大臣または都道府県知事によって指定されています。

秋田森林管理署管内では、国有林野面積111千haのうち107千haと97%が保安林に指定されています。



(水源かん養保安林・水土保持モデル林 美郷町)

保安林面積106,839ha



2 レクリエーションの森の整備

豊かな自然環境を積極的に活用するため、全国の国有林野の中から美しい森林や渓谷、湖沼等の景勝地及び野外スポーツ、森林学習に適した森林空間等を「レクリエーションの森」として選定し、広くみなさんに利用していただけるよう、それぞれの状況に応じ森林や施設の整備をしています。

秋田森林管理署管内では、22箇所のレクリエーションの森を設定しています。

レクリエーションの森一覧表

種類	名称	面積 (ha)	所在地	種類	名称	面積 (ha)	所在地
自然休養林	仁別	2,795	秋田市	風景林	小又峡	138	秋田市
自然観察教育林	砥沢	2	秋田市		田沢湖	55	仙北市
	玉川温泉	11	仙北市		大蔵神社	9	仙北市
	南外	5	大仙市		抱返り	9	仙北市
野外スポーツ地域	グリーンフィットネス	131	仙北市		玉川	623	仙北市
	ブナ森渋黒台地域		仙北市		渋黒	57	仙北市
	田沢湖スキー場	37	仙北市		乳頭・駒ヶ岳	118	仙北市
	千畑スキー場	廃止手続中			川口渓谷	151	美郷町
風景林	河北				黒沢大台	21	美郷町
	南又沢渓谷	50	秋田市		瀧尻	5	美郷町
	筑紫森	20	秋田市		瀧尻沼	18	美郷町
	三内川	2	秋田市		計	4,257	

「レクリエーションの森」の紹介～仁別自然休養林

レクリエーションの森として指定している仁別自然休養林は、明治100年記念事業として整備され「仁別国民の森」として太平山登山、森林博物館や天然秋田杉の見学をはじめ森林浴、自然観察など広く親しまれ心の癒しの場となっています。

仁別森林博物館は昭和39年に開館され、平成20年にリニューアルオープンし、平成23年度は4月29日より11月3日までの月・金・土・日の週4日を開館日とし、休館日であっても祝祭日は開館日とし、仁別森林博物館ボランティア案内人会」による博物館の説明や、希望により周辺散策路の案内を実施しております。

森林博物館周辺の散策路等については環境整備を行い、めおと杉まではバリアフリーとしてウッドチップ舗装となっています。

また、太平山登山ルート of 旭又口は旭又園地として登山客をはじめ、森林浴等に訪れた人達の休息の場として東屋やベンチを設置しています。

森林浴、森林学習等気軽に「仁別国民の森」へ訪れみてませんか！！



(仁別森林博物館)



(めおと橋とウッドチップ歩道)



森林の役割をもっと活かすために 2

保護林・緑の回廊の指定

国有林における「保護林制度」は学術研究、貴重な動植物の保護、風致の維持等を目的に、大正時代より機能してきており、重要な役割を担ってきました。

秋田森林管理署管内においては、下記20箇所の保護林を設定し維持管理に努めています。

また、保護林同士を繋げて、野生動植物の個体群の交流を可能にし、種の保存、遺伝資源の保全を図るため「緑の回廊」を設定しています。秋田森林管理署においては、「八幡平・太平山」と「奥羽山脈」の2つを「緑の回廊」として設定しています。

保護林区分	保護林の名称	面積	秋田以外の設定署
森林生態系保護地域	葛根田川・玉川源流部	4,619	盛岡署
森林生物遺伝資源保存林	奥羽山脈北西部	129	上小阿仁支署
林木遺伝資源保存林	軽井沢アカシデ	9	
	仁別スギ	21	
	田沢湖コナラ	5	
植物群落保護林	八幡平	2,606	岩手北部・盛岡・米代東部
	和賀岳	6,399	
	太平山周辺	2,784	上小阿仁支署
	番鳥森・大仏岳ブナ	1,158	上小阿仁支署
	小又沢スギ	42	
	ユキツバキ	6	
	奥山沢スギ	9	
	小又沢バッコ杉	0	単木0.01ha
	真昼岳オサバグサ	5	
	湯淵沢ヒメカイワ	5	
	蟹場沢トガクシショウマ	3	
	仙岩峠スギ	7	
	夏瀬ヒバ	9	
	葡萄森ブナ	579	
特定動物生息地保護林	真昼岳モリアオガエル	7	



(和賀岳植物群落保護林・奥羽山脈緑の回廊)



(小又沢バッコ杉)



(太平山周辺植物群落保護林・八幡平・太平山緑の回廊)

森林の役割をもっと活かすために 3

治山事業の推進

治山事業は、保安林に指定している森林の維持・造成を通じて森林の働きを高める事業で、自然災害などにより被害を受けた森林をよみがえらせたり、荒れた森林を健全な状態に保つことによって、自然災害から人々の生命や財産を守り、また、良質な水源の確保や人々の暮らしにうるおいを与えたりする重要な事業です。

また、人と自然にやさしい工事をめざして、自然環境への配慮、木材の有効利用、野生生物への配慮など様々な取組を行っています。

秋田森林管理署では平成22年度より治山事業の紹介や説明をメインとした森林ガイド事業を予定しており、地域のみなさまの治山事業への理解と関心、防災意識の高揚に資するよう取組むこととしています。

■ なだれ予防柵

孫六温泉(秋田県仙北市)



ネットタイプのなだれ予防柵

樹木をほとんど伐採しないでつくることができるネットタイプのなだれ予防柵は、冬には遠くからでもその支柱部分が見て取れますが、夏には周りの木々に隠されて全くわかりません。

参考：一般的な工法事例



コンクリートと鋼材で作られた
なだれ予防柵

夏 期



遠くからは柵が全く見えない(設置半年後)

冬 期



柵の支柱はわかるものの周りの木々に
まぎれてほとんど目立たない

開かれた国有林のために

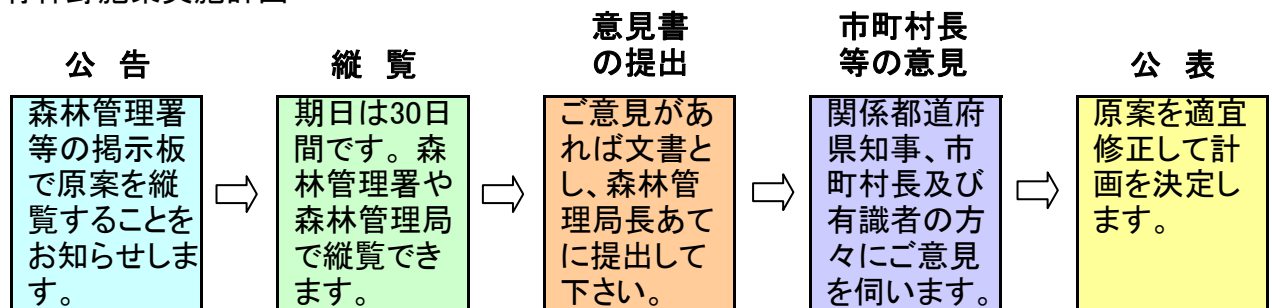
もっと開かれた、もっと親しみのある国有林を創ることが、わたしたちの大切な仕事の一つです。そのためにわたしたちが行っている取組のいくつかを紹介します。

○計画の策定

森林の管理に関する計画は、全国森林計画をはじめ数多くあります。その中で国有林に関係し、かつ皆さんの生活に深く関わっているのが「地域管理経営計画」と「国有林野施業実施計画」です。これらを策定する前に皆さんからの意見を聞き、よりよい計画をたてられるよう努力しています。

計画策定の流れ

- ・地域管理経営計画
- ・国有林野施業実施計画



※策定前には広く意見を聞くといった必要性から、住民の意見を聞く懇談会を開催しています。

○ 森林・林業の普及啓発活動

国有林では、森林や林業のことを理解していただくために、植樹祭や森林教室などを行っています。秋田市中通小学校では、毎年5年生を対象に記念植樹や森林教室を行っているほか、一般の方々を対象に国有林を案内する森林ガイド事業も積極的に行い、普及啓発活動に努めています。



(秋田市立中通小学校記念植樹)

○ 森林ボランティア活動

当管内に129名のフォレストボランティアが登録されており、山火事防止、高山植物保護などの森林パトロールや歩道整備等の自主的な活動をしていただいています。



(仁別国民の森かん木園雪囲い)

○ 森の巨人たち100選(巨樹・巨木)

林野庁では、全国の国有林の中から太さ(人の胸の高さの直径)1m以上の樹木、又は地方のシンボルとなる樹木など100箇所を選定して「森の巨人たち100選」として公表しました。その中において秋田森林管理署管内からは4箇所が選定されています。これらの樹木に係る保護運動は地方自治体等による「保護協議会」を設置し自主的な活動を基本としています。

○ めおと杉

(秋田市仁別字務沢国有林13林班た1小班)

幹周12m、樹高36mの天然秋田杉で、地上2m付近で男杉と女杉に分かれています。



仁別自然休養林(太平山県立自然公園)内。雄大な天然秋田スギと広葉樹林が鬱蒼となった林内にある。根元から分かれた2本の天然秋田スギが寄り添い、あたかも仲むつまじい夫婦の様相を呈している。向かって左が「女木」、右が「男木」といわれている。散策歩道が整備されている。

◎JR秋田駅から車で50分(約25km)、駐車場から徒歩5分

○日本一のブナ(仙北市)

(仙北市角館町白岩大広久内山国有林1178林班そ小班)

幹周8.6m、樹高24mのブナとしては日本一の太さを誇ります。



奥羽山脈中部の和賀山塊にある白岩岳の中腹、ヒバ林の中にひととき大きく泰然とそびえている。幹は隆々とした「コブ」を有して老樹の風格をなしているが、四方に広がる枝葉は若々しい生気をみなぎらせている。幹周り8.6mが日本一のブナと評されている。

◎JR角館駅から約17kmで林道からの歩道入り口、ここから尾根道をたどり徒歩約50分(歩道は特に刈り払いしていない)

○日本一のクリ(仙北市)

(仙北市角館町白岩大広久内山国有林)

1178林班い小班)

幹周8.1m、樹高22mのクリとしては日本一の太さを誇ります。



田沢湖抱返り県立自然公園内。紅葉で有名な「抱返り渓谷」の切り立った断崖状の地形に生育する。数ある巨木の中でも、天然のクリの大径木は稀少で、幹周り8.1mが日本一と評されている。近くには、「日本一のブナ」も存在し、付近一帯は急峻な地形と古木の存在が特徴である。

◎JR角館駅から約9kmで抱返神社駐車場、遊歩道を約1時間で登り口、ここから尾根をたどり徒歩約50分(歩道はない)

○ オブ山の大杉(大仙市)

(大仙市太田町太田字川口沢国有林)

2179林班ろ1小班)

幹周12.4m、樹高34mの太さは県内一です。大仙市(旧太田町)の天然記念物にも指定されています。



真木真昼県立自然公園、川口渓谷風景林内の標高450mの急斜面にそそり立っている。大杉に関心を持った太田町教育委員会が調査したところ、県内一の太さであることが判明、平成12年町指定文化財に指定されている。近くの権現山には、幹周り8mを越えるスギもある。

◎JR大曲駅から、奥羽山荘行きバスで50分。町道を川口川沿いに徒歩約20分、ここから歩道約600m登る

管内あれこれ 1

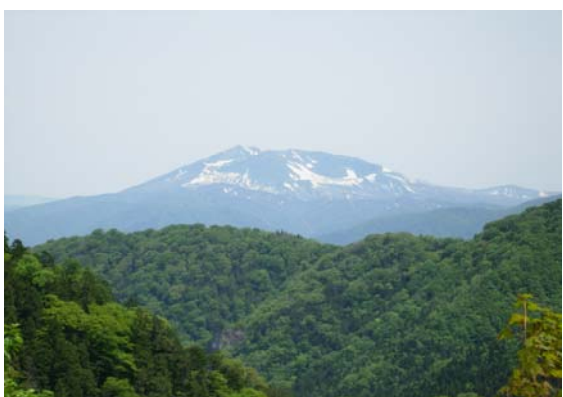
1 登山

秋田森林管理署管内には、乳頭山、駒ヶ岳、和賀岳、太平山など、多くの著名な山々が存在します。ここでは特に人気のある駒ヶ岳と太平山を紹介します。

(1) 駒ヶ岳

標高1,637mの秋田駒ヶ岳は、田沢湖を見下ろす秋田県屈指の高峰です。初夏の残雪から、こまくさを初めとする高山植物観賞、秋の紅葉まで、その景色は素晴らしいものがあります。

6月から10月の期間はマイカー規制により、8合目（登山基地）まで路線バスによる運行となります。家族での登山から健脚者の登山まで、コースも豊富で多くの駒ヶ岳ファンが訪れています。



駒ヶ岳 遠望



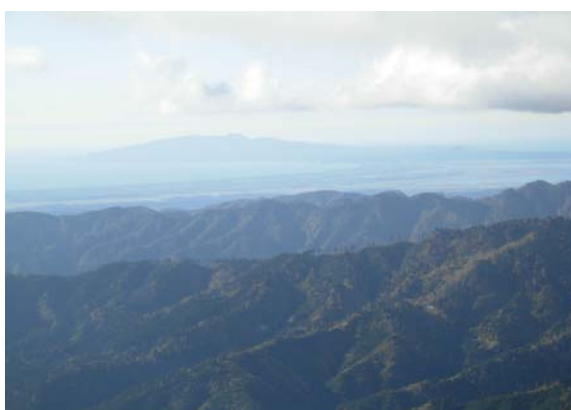
高山植物の女王 こまくさ

(2) 太平山

標高1,171mの太平山は、山頂に梵天祭で名高い三吉神社の奥宮があり、古くから参拝登山がなされており、山頂からの展望も優れています。登山コースも豊富ですが、仁別林道終点からの旭又コースが一般的で、平成16年にはこのコースが「新百名山」として指定され多くの登山客で賑わっています。



太平山山頂を見る



太平山山頂より男鹿半島を臨む

管内あれこれ 2

2 史跡名勝

秋田森林管理署管内には、関係市町村が指定する文化財が多くあり、史跡3箇所、特別天然記念物1箇所、天然記念物6箇所が指定されています。

区分	指定期間	管理機関	森林事務所
特別天然記念物			
玉川温泉の北投石	国	農林水産省	玉川第2
天然記念物			
ユキツバキ自生北限地帯	秋田県	仙北市教育委員会	角館
金峰神社のスギ並木	秋田県	仙北市教育委員会	角館
秋田駒ヶ岳高山植物帯	国	仙北市	生保内
モリアオガエル生息地	美郷町	美郷町教育委員会	千屋
玉川のアサギカキ群落	秋田県	仙北市教育委員会	玉川第2
オブ山の杉群落	大仙市	大仙市教育委員会	千屋
史跡			
土のぼつと一里塚	仙北市	仙北市教育委員会	生保内
助小屋跡地	仙北市	仙北市教育委員会	生保内
善知鳥キリシタン洞窟	美郷町	美郷町教育委員会	千屋

(1) 金峰神社のスギ並木

仙北市田沢湖梅沢字大船指市国有林に所在しており、神社本殿までのスギ並木が天然記念物に指定されています。スギ並木は左側に41本、右側に39本が立ち並んでおり、秋田県指定の唐松神社のスギ並木に匹敵するもので、学術上の対象資料として貴重であることから天然記念物に指定されている。本殿境内の西北側の天然性林にもスギ並木と同様のスギが生立しており、風致保安林として林地保全に努めています。



(2) 善知鳥キリシタン洞窟



この洞窟はキリスト信者が多数いたとされる善知鳥地区の山中にあり、構造や位置から見てキリシタン洞窟と考察されます。このことは文献や調査研究によって明らかにされていますが当時の幕府や藩の信者迫害によって、その布教実態を明らかにする物証は皆無に等しいといわれています。このような背景の中で、この洞窟は江戸時代におけるキリスト教信者の実態を明らかにする数少ない資料であり、史跡名勝天然記念物に指定し保護することとしています。

※善知鳥(うとう)

平成23年度 秋田森林管理署事業量と組織機構

1. 事業概要

(1) 事業量: 当初計画量

① 国有林収穫量 143.2千m³ ② 素材生産量50.0 千m³ ③ 新植面積19 ha ④ 下刈360ha

(2) 組織機構

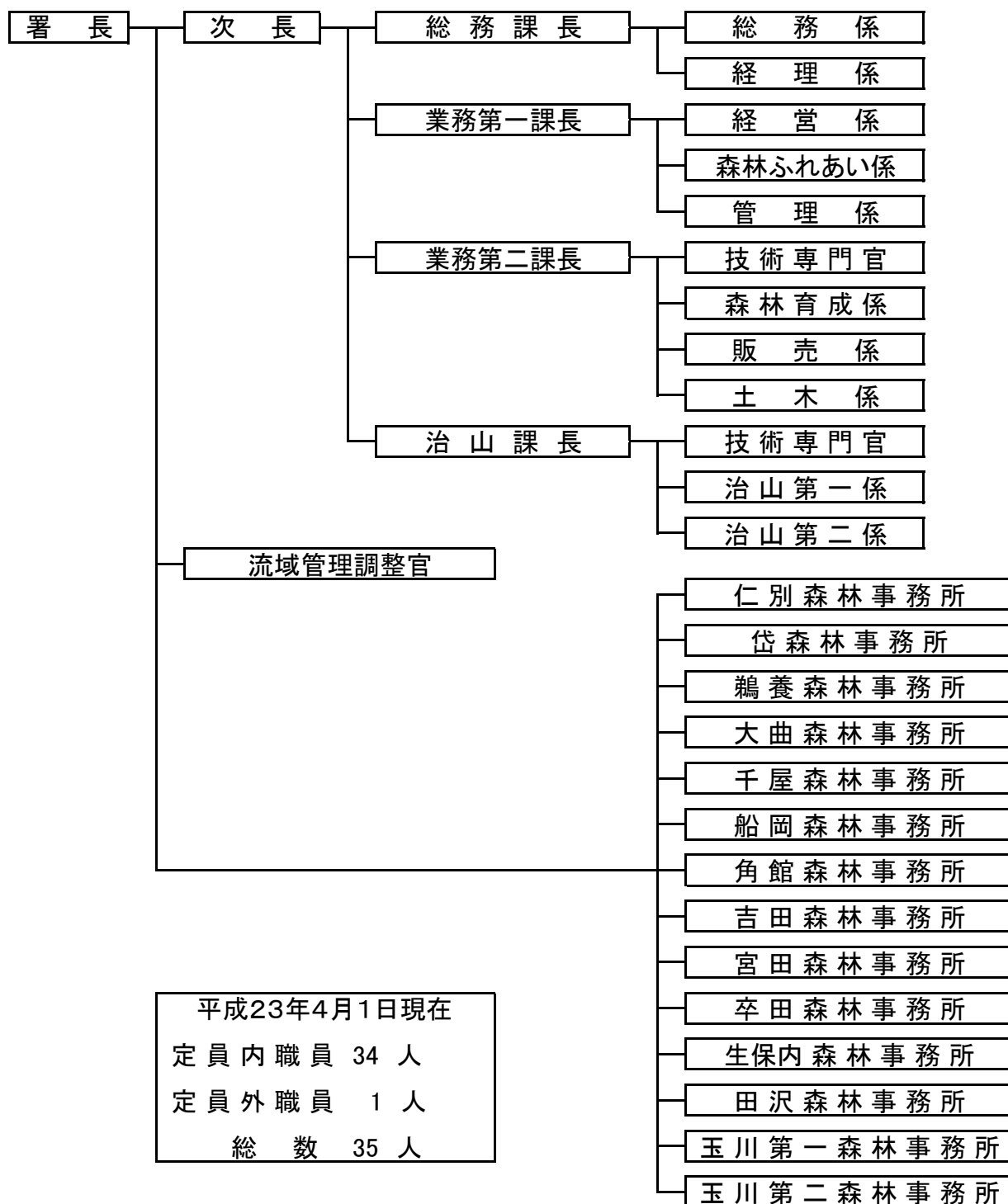
昭和61年3月: 和田営林署と統合し、秋田営林署となる。

平成11年3月: 秋田、大曲、角館、田沢湖営林署を秋田営林署に組織再編し、大曲、角館、田沢湖事務所を設置。

平成13年8月: 大曲事務所、角館事務所を廃止。

平成16年3月: 田沢湖事務所を廃止。

〃: 男鹿森林事務所を米代西部森林管理署に整序。





国民の森林・国有林

お問い合わせ先・緑の相談窓口

秋田森林管理署
〒019-2601

秋田県秋田市河辺和田字和田156-3

電話 (018) 882-2311

I P 050-3160-5830

FAX (018) 882-2614

<http://www.akita-kokuyurin.jp>

